

京都市立中学校・小中学校（後期課程）進学予定児童の保護者の皆様へ

「ジョイントプログラム第5回（小学校総まとめ）」について

京都市立向島秀蓮小中学校
校長 上野 政弘

早春の候、保護者の皆様にはますます御壮健のこととお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動に御理解いただき、ありがとうございます。

さて、京都市立小・小中学校（前期課程）では「ジョイントプログラム」を実施し、予習・確認・復習の一連のサイクルにより、児童が主体的に学ぶための意欲喚起と習慣化、基礎基本の定着を図ってまいりました。

中・小中学校（後期課程）においても、「学習確認プログラム」として継続してまいります。今回進学直後に「ジョイントプログラム第5回（小学校総まとめ）」の確認テストを実施しますので、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

「ジョイントプログラム第5回（小学校総まとめ）」について

【小学校】3月 ◆「予習プリント」（総まとめ教材）の配布

（小中学校前期課程） 中学校進学前の春休み中に小学校での学習内容を総復習し、進学先の中学校で提出します。

【中学校】4月 ◆「予習プリント」（総まとめ教材）の提出

（小中学校後期課程） ◆「確認テスト」の実施（国語・数学〔算数〕、1教科当たり45分）
3月配布の「予習プリント」に基づいた学習の定着状況を確認します。

◆「フォローアップシート（復習シート）」（復習教材）の配布

5月 ◆「個人成績資料」の配布

〔費用〕 教材費相当分として保護者負担（460円）を中学校進学後に預り金で集金します。

＜参考＞ 「学習確認プログラム」の概要

京都市立中学校3年間では、以下のとおり「学習確認プログラム」を実施します。

（1）実施学年・時期・教科

実施学年	ステージ名	実施時期（予定）	実施教科
1年生	ベーシックステージ1	10月中旬	国語 社会 数学 理科 英語
	ベーシックステージ2	1月下旬	
2年生	プレスステージ1	7月上旬	
	プレスステージ2	10月中旬	
	プレスステージ3	1月下旬	
3年生	ファーストステージ	5月中旬	
	セカンドステージ	10月中旬	

（2）実施方法

- 学習の定着状況の確認は、ジョイントプログラムと同様にテスト形式（1教科当たり45分）で行います。
- 生徒には、年間出題計画表、ステージごとの出題範囲・予習シート（予習教材）、学習確認問題、解答解説、個人成績資料、フォローアップシート（復習教材）などをステージごとに配布します。
- 教材費相当分として保護者負担（1回あたり820円（予定））を預り金で集金します。